

千曲市内の病院およびマスクの着用について

【ご意見】

①千曲市の医療について

コロナ禍で発熱があれば病院へと案内されますが、混みすぎていて診察をしてもらえません。

大人は我慢できたとしても子供はどうでしょうか？

市内に小児科が少なすぎます。子どもは他市の小児科へ行くしかないのでしょうか？それでは安心して子育てができません。少なくともあと2か所程度は小児科を誘致してください。予防接種についても、市からは接種してくださいという割に市内ではできるところは限られています。これも小児科を誘致すれば解決できると思います。

病院が逼迫しているようでは、千曲市民は安心して生活ができないのではないのでしょうか？

小児科誘致に含め、見直していただければと思います。

千曲市に住む子どもたちの未来が明るく希望を持てるようになるといいなと思います。どうかよろしくお願いします。

②子どもたちのマスクの着用について

現在保育園ではお昼寝中もマスク着用していると聞きました。

今の年長さんは入園した頃からコロナ禍ですずっとマスク生活、園行事の縮小や中止の中生活してきました。コロナ禍以前のことを知りません。

今の生活が日常と感じている子どもたちに、残りの園生活はコロナ禍以前のように生活させてあげたいです。

集団生活の中でいろんなご意見の家庭があるとは思いますが、子どもたちも先生方もみんなマスクを外して園生活を送れるように案内してください。

このままマスク生活だと、子どもたちも先生たちも素顔を知らないまま卒園になってしまいます。

ご縁あって出会えたお友達です。子どもたちの社会生活への第一歩を奪ってはいけないと思います。

保育園、幼稚園、小学校など子どもたちと先生方にはマスクをせず生活していただきたいです。

よろしくをお願いします。

このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

1. 千曲市の医療について【回答：健康推進課】

本市の小児科数は3箇所です。小児科は求められる医療の領域の幅が広く、また少人数で対応しなければならない状況に加え、医師不足の中でも特に小児科医を新たに目指す方が減少していると言われていています。市といたしましては、地域の実情を踏まえて医療環境のあり方を注視していくとともに、調査・研究等、小児科を増やすことに努めてまいります。

現在新型コロナウイルス感染症拡大により、長野圏域の感染警戒レベルが6となり、医療非常事態宣言が発出されております。市内医療機関も受診者や予約者数を増やして対応いただいておりますが、受診希望者が増え続け、医療が逼迫している状況です。

新型コロナウイルス感染症の「みなし陽性」や自己検査の協力等についても長野県において運用を開始しました。これにより、医療の逼迫が解消され通常診療が期待される場所ではありますが、何卒ご理解ご協力をお願いいたします。

2. こどもたちのマスク着用について

【回答：保育課、教育総務課】

保育園では、国の方針や県の考え方にに基づき、2歳未満児

については、マスクの着用を推奨しておりません。

2歳以上児については、マスクの着用を一律に求めていますませんが、クラス内で陽性者が発生している場合や体調不良者が複数いる場合は、園の判断で可能な範囲で一時的に着用していただくことがあります。

小学校では、新型コロナウイルスに対する基本的な感染防止対策として、引き続きマスクの着用は重要であることを踏まえたうえ、ご指摘のとおり「友だちの顔がわからない」等の声もありますので、児童の感染リスクが低い場面では、マスクを外すよう指導をしたり、学校でもマスクを外すことができる環境整備（児童が一定の距離を保てるなど）に努めておりますので、ご理解をお願いします。

なお、保育園、小学校ともに職員については、基本的な感染防止対策としてマスクの着用が重要となっておりますのでご理解のほどお願いいたします。